

# 安保法案採決へ攻防

## 参院特別委 野党反発 開会阻む

他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案をめぐり、与党は十六日夜、参院特別委員会での採決に向け締めくくり質疑を行おうとしたが、野党議員が反発して開会を阻み、国会は緊急した。これに先立ち午後には横浜市で開かれた特別委の地方公聴会では公述人から採決に抗議する意見が出た。

だが与党は公聴会の開催前の段階でこの日審議を打ち切る方針を確認。特別委で質疑終了後に採決し、十七日の参院本会議で成立を強行する構えだ。●関連●面、公聴会発言要旨●面

参院議院運営委員会の中川雅治委員長は十六日夜の理事会で、安保法案採決に備え、十七日に参院本会議を開催する日程を職権で決めた。

これに先立ち民主、維新、共産、社民、生活の野党五党は党首会談を国会内で開き首相問責決議案や内閣不信任決議案の提出を含め、あらゆる手段で成立阻止に全力を挙げる方針で一致した。民主党の岡田克也代表は会談後、記者団に「採決を前提とした締めくくり質疑は認められない」と述べた。

野党は、与党が質疑を強行すれば、鴻池祥肇委員長（自民）の不信任動議を参院に提出する。

特別委は十六日午後六時半から安倍晋三首相らが出席して開会予定だったが、多数の野党議員が委員会室の周辺に詰め掛け、与党側と小競り合いになり、開会はずれ込んだ。野党議員が廊下で鴻池氏に「廃案だ」と詰め寄る場面もあり、周辺は混乱。一時は山崎正昭参院議長の指示で監視が鴻池氏の通路を確保し、野党議員とのつかみ合いで騒然とする場面もあった。

地方公聴会では、野党推薦の水上貴央弁護士が「公聴会が採決のための単なるセレモニーなら、申し上げるべき意見を持ち合わせていない」と抗議した上で、廃案を求めた。

国会前で抗議デモ警察官ともみ合い



国会前で警察官とらみ合う安保関連法案反対を訴える人たち 16日午後8時21分、東京・永田町で

らみ続け、三万五千人以上（主催者発表）に。正門前では、歩道ですし詰め状態となった人々が車道へ出ようとするが、すき間なく並べられた警察車両とおびただしい数の警察官が阻んだ。激しいもみ合いが続き、参加者から「やりすぎだ」「車道を開放しろ」などと怒号が飛んだ。

「私たちの将来はどうなってもいいの。安倍さんや政府には『ふざけるな』って言いたい」。高校二年の河野日向さん（右）は横濱市は憤った。夢は看護師。「戦争になれば従軍看護師として戦地に行くかもしれない。戦場で多くの人が死んでいく姿を見たくない」と訴えた。

泉川義雄さん（右）は東京都荒川区は「国民の声を無視し、戦争法案を成立させようとする今の政治の状況を見せたい」と、十歳と七歳の娘を連れて来た。

娘たちの頭をなでながら「この子たちを戦争の加害者にも被害者にもさせたくない」と語る。

（中沢誠、小林由比、小形佳奈）